

## 第 56 回東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ：「大腸内視鏡用手圧迫法を学ぼう」

開催日：2023 年 3 月 25 日（土）14：00～16：00

会場：五反田文化会館

出席者：30 名

ようやく新型コロナウイルス感染流行状況も少しずつ収まり、規制が緩和されたため参加人数を少し増やして開催の運びとなりました。今回は過去のアンケートでも要望の多かった「大腸内視鏡用手圧迫法を学ぼう」と題して総合東京病院 菊田学先生より講義を行っていただきました。

### 講義内容のご紹介

- ・大腸内視鏡の種類と特徴
- ・安楽な大腸内視鏡挿入のために
- ・3D 画像を用いた大腸の立体的解剖
- ・内視鏡挿入法の理解  
(軸保持短縮法・LOOP 法・LOOP の種類)
- ・用手圧迫法の理論  
(S 状結腸・脾彎曲・横行結腸・肝彎曲)
- ・挿入困難症例の介助方法



検査時の実際動画と内視鏡挿入形状観測装置の動画を見ながらお話をして頂き、臨場感ある講義でした。また、検査中は内視鏡画面に集中するだけでなく医師のスコップを持つ手の動きから挿入法を理解した上で用手圧迫をする事でスムーズな介助となり、検査中の患者さんの苦痛を和らげることが出来ると学びました。また、患者さんへの声かけが緊張を和らげ、よりスムーズな苦痛なき挿入介助ができる事も学びました。

終了後のアンケートでは、「実践ですぐ使える内容だった。」「大腸の解剖の画像があり、わかりやすかった。」「体位変換による腸管の変動を学ぶことが出来た。」

「実際の動画が含まれており、初心者でもとても理解しやすく今後の介助が楽しみになった。」等の感想を頂きました。

質疑応答では内視鏡経験に関わらず活発に行われました。皆さん日々悩み、疑問を抱えながらも目の前の患者さんの為にとという思いが伝わってきました。自分もこの学びを活かし、的確な用手圧迫と声かけが出来るように少しずつでも頑張りたいと思います。

文責：白井直美